

日本放送協会 理事会議事録

(平成30年 4月10日開催分)

平成30年 4月27日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成30年 4月10日(火) 午前9時00分～9時20分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、坂本専務理事、
児野専務理事・技師長、根本理事、松原理事、荒木理事、黄木理事、
大橋理事、菅理事、中田理事、今井特別主幹
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 平成30年度標準役員報酬について
- (2) 平成30年度役員交際費の支出限度額について
- (3) 放送センター建替工事(第I期)の落札者について
- (4) 放送センター建替工事(第I期)の契約締結(重要な不動産の取得)について

議事経過

1 審議事項

(1) 平成30年度標準役員報酬について

(秘書室)

平成30年度の標準役員報酬について、審議をお願いします。

今年度の標準役員報酬については、会長、副会長、専務理事、理事とも29年度と同額としたいと思います。

本件が了承されれば、本日開催の第1304回経営委員会に諮ります。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、本日の経営委員会に諮ります。

(2) 平成30年度役員交際費の支出限度額について

(秘書室)

平成30年度役員交際費の支出限度額について、審議をお願いします。

役員交際費の使途の範囲は、事業に関係ある方に対する謝礼品、事業に関係ある方との会食を伴う打合せ、事業に関係ある方の慶弔等に際し支出する金品、事業に関係ある外部団体等に支払う各種会費です。その今年度の支出限度額を、29年度と同額としたいと思います。

本件が了承されれば、本日開催の第1304回経営委員会に諮ります。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、本日の経営委員会に諮ります。

(3) 放送センター建替工事（第I期）の落札者について

(放送センター建替本部)

放送センター建替工事（第I期）については、総合評価落札方式による一般競争入札を実施した結果、竹中工務店・久米設計設計施工共同企業体を落札者として決定することとしたいので、審議をお願いします。

落札金額は573億円、消費税込みで618億8千4百万円となりま

す。これは予定価格の90.7%になります。

今回の入札では、4つの共同企業体が技術提案書を提出し、NHKが審査する「基礎点審査」に合格していました。しかし、独占禁止法違反に関係する4社に対して、NHKが3月30日に指名停止としたため、該当する企業が含まれている3つの共同企業体が開札前に失格となりました。その結果、竹中工務店・久米設計の共同企業体1者で技術審査委員会のヒアリングと総合評価点の算出、そして価格入札を実施したところ、入札価格が予定価格以内に入っていたため落札となりました。

続いて、技術力と価格の両方を総合的に評価するため採用しました「総合評価落札方式」の仕組みについて説明します。まず、入札参加者から提出された技術提案書が要求水準を満たしているかをNHKで審査し、満たしている場合に得点を付与する基礎点があります。次に、基礎点審査を通過した技術提案書を技術審査委員会が評価基準に基づき審査し、算出する加算点があります。この基礎点と加算点の合計からなる技術評価点を入札価格で割って総合評価点を求め、その点数が最も高い者が落札予定者となる仕組みです。

技術審査委員会の構成メンバーは、深尾精一委員長（首都大学東京名誉教授）、射場本忠彦委員長代理（東京電機大学常務理事）、伊藤香織委員（東京理科大学教授）、木下庸子委員（建築家／工学院大学教授）、時田繁委員（一般社団法人公共建築協会常務理事）、松村秀一委員（東京大学大学院教授）、山田哲委員（東京工業大学教授）の7名で、それぞれ専門の立場から評価していただきました。

本件が了承されれば、本日開催の第1304回経営委員会に報告します。

（副会長） 評価加算点の1項目として、工期短縮の項目がありますが、竹中工務店・久米設計グループの提案ではどれくらい短縮されるのでしょうか。

（建替本部） 想定していた工期より1か月短縮されます。提案の段階では、土日は完全に工事を取りやめるとのことで、働き方改革を十分に意識した案となっていて、かつ1か月の工期短縮が可能ということです。

(坂本専務理事) 総合評価結果について、1位以外は失格となっておりますが、失格と判定したのはいつなのでしょうか。

(大橋理事) 3月30日です。

(坂本専務理事) その時点で自動的に失格となったのですね。

(会 長) 相手方には説明したのですか。

(経理局) はい。リニア中央新幹線工事の独占禁止法違反で起訴された大林組、大成建設、清水建設など4社には放送センターに来てもらい、指名停止を通知しました。その結果、大林組、大成建設、清水建設が代表者を務める3つのグループが失格となりました。

(会 長) それでは、この経緯についても、支障がない範囲で分かりやすく資料に記載してください。

(大橋理事) 分かりました。なお、先ほどの補足ですが、募集要綱には入札の参加資格という項目があり、今回は、その資格条件に基づいて失格としています。

(会 長) 他にご意見等がありませんので、原案どおり決定し、本日の経営委員会に報告します。

(4) 放送センター建替工事（第I期）の契約締結（重要な不動産の取得）について

(経理局)

放送センター建替工事（第I期）について、一般競争入札を実施した結果、落札者が決定したので、契約締結（重要な不動産の取得）について、審議をお願いします。

契約の概要についてです。

業務内容は、設計業務と施行業務に分かれます。

設計業務は、放送センター建替にあたる施設全体の基本設計と確認申請、情報棟の実施設計等です。

施工業務は、事前工事、情報棟の新築工事、既設建物への受電系統切替工事等です。新築する情報棟は、床面積79,525.24㎡、高さ48.85m、地下1階、地上9階とし、建設地は東京・渋谷の現在地です。床面積などは、現時点の数字ですので、今後、実際に設計する段階で変更と

なる場合があります。

工期日は、情報棟の竣工を2024年3月1日とします。ただし、既設建物への受電系統切替工事は、情報棟運用後の2025年12月26日とします。

契約方式は、一般競争入札の、設計施工一括総合評価落札方式です。契約金額は、573億円、消費税込みで618億8千4百万円です。

契約先は、竹中工務店・久米設計設計施工共同企業体で、代表者は、株式会社 竹中工務店です。

なお、契約の締結は、経営委員会の議決後、4月中旬の予定です。

今後、実際に設計施工業務が行われる中で、契約金額などの変更が生じる場合には、あらためて、理事会、経営委員会に諮ります。

本件が了承されれば、本日開催の第1304回経営委員会に諮ります。

(副会長) 今の説明にあった情報棟の床面積や高さは、相手方が出した数字ですか。

(経理局) はい。落札者の提案の数字です。

(副会長) 床面積7万9千㎡というのは、これまで検討してきた数字よりも大きいのではないのでしょうか。全体での制限もあり、他のところを減らさないといけなくなるのではないのでしょうか。

(建替本部) 今後、制作事務棟や公開棟も建てますので、業者にヒアリングをしています。シミュレーションの結果、情報棟以外の建物は計画通りに入るとのことですが、今後、さらに確認を進めなければならないと考えていますし、床面積7万9千㎡が固定ということではありません。

(会 長) その場合の契約金額はどうなりますか。

(経理局) 床面積が変更になると、もう一度詳細に積算を行うこととなり、契約金額も変わります。

(会 長) 他にご意見等がありませんので、原案どおり了承し、本日の経営委員会に諮ります。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成30年 4月24日

会 長 上 田 良 一